

2011年12月27日
東海テレビ放送再生委員会

東海テレビ放送再生委員会からのご報告

2011年12月23日(金)に、11月15日の答申後、最初となる第13回再生委員会を開催いたしました。

冒頭、音好宏委員長(上智大学新聞学科教授)から「答申を出して最初の再生委員会です。今日からの作業は、答申が会社側にどう受け止められ、執行されているのかの確認、評価することで、いわば第二ステージとなります。」との挨拶がありました。

委員会での議事概要は下記の通りです。

■再生委員会の答申を受けた会社側取り組みについて

再生委員会の答申を受け、会社側から今後の対応について報告がありました。主な内容は：

- ・ 放送倫理研修会や人材育成の為に研修を充実する。
- ・ 職場コミュニケーションに関する答申にある5つの提言を積極的に進める
- ・ 契約については、定期的に見直しを行い、現場の作業が適正に行われているかを編成とコンプライアンス部門がチェックする
- ・ コンプライアンス推進局を新設し、コンプライアンス経営を強化する
- ・ 東海テレビの活動に対する論評や注意喚起、提言を行う組織「オンブズ東海」を設置する
- ・ 企業理念、基本方針を明示し、新たな考え方に基づく「第12次経営計画」を策定する

■1月1日付機構改革・「オンブズ東海」について

2012年1月1日付でコンプライアンス推進局(コンプライアンス推進部、番組審議室で構成)を新設する。また、「オンブズ東海」を設置する

■会社側の報告に対する評価

上記会社側からの報告に対し、再生委員会として次のような評価をしました。

- ・ 答申に対し真摯に向き合い、改革を進めるための制度整備を進めている姿勢を評価する、しかし、まだ緒に就いたばかりであり、今後改革がより実効性を持ち、本来的に機能するよう期待している
- ・ 経営として、答申をどう受け止め、どう反省したのかについても改めて伺いたい

■次回再生委員会日程について

次回再生委員会については、コンプライアンス推進局発足、「オンブズ東海」の第1回目会合開催、「第12次経営計画」の策定を受け開催する予定です。

以上